

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 元気な美濃茶産地づくり推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 野菜果樹特産係 電話番号：058-272-1111 (内 2867)

E-mail: c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 244 千円 (前年度予算額：306 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	306	0	0	0	0	0	0	0	306
要求額	244	0	0	0	0	0	0	0	244
決定額	244	0	0	0	0	0	0	0	244

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・高齡化や後継者不足に伴う茶園の管理不足等により、生産量の減少や品質低下が見られる。
- ・茶価の低迷により、生産者の経営が悪化し、生産意欲も減退している。
- ・県内の荒茶加工施設は小規模で老朽化したものが多い。
- ・本県の茶業振興に資することを目的として、令和3年3月に「岐阜県茶業及び茶の文化の振興に関する計画」を策定する予定。

(2) 事業内容

- ・優良な茶園の継承に向けて、茶園台帳の整備を推進する
- ・荒茶の生産の機能を維持するため、茶工場の統合・再編を推進する。
- ・平坦地や中山間地域の特性に合う茶生産の拡大により、産地の維持拡大を進め、県茶品評会への出品による技術向上を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

「ぎふ農業・農村基本計画」にも位置づけた茶の生産振興について、
県が負担し推進することは妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	56	・ 事業推進にかかる業務旅費
需用費	75	・ 事業推進にかかる消耗品
役務費	13	・ 事業推進にかかる通信運搬費
負担金	100	・ 関西茶業振興大会負担金
合計	244	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 「ぎふ農業・農村基本計画」
- ・ 「岐阜県茶業及びお茶の文化の振興に関する計画」

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

地域の特性を活かした茶の生産を進めるとともに、優良茶園の管理と茶工場の再編統合を進め、茶産地の維持発展を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
茶園管理台帳を備えた市町村数	1 (R2)	(H)	(H)	1 (R2)	4 (R7)	25%

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

- ・平成 27 年度に本県で開催した関西茶品評会において、農林水産大臣賞や産地賞をはじめ多数が上位入賞できたことから、30 年度も上位入賞に向けた栽培技術指導に継続して取り組んだ。
- ・高品質茶生産に係る研修会や各種栽培資材等実証試験などを行い、優良な美濃茶生産を推進した。
- ・全国段階や関西圏茶関係会議に出席し、茶業情勢に係る情報収集や他県等との連携を進めた。

(前年度の成果)

- ・平成 27 年度に本県で開催した関西茶業振興大会を契機として、関係機関との連携が深まり、生産者・関係者の茶業振興に関する取組の機運が高まっている。
- ・関西茶品評会で上位入賞する等、生産者の茶生産技術の向上が図られた。
- ・国が創設した茶の新改植を支援する事業の推進を図った。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	担い手の高齢化、加工施設の老朽化等により、生産量確保の問題が大きく、産地存続に向け、取組の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	関係者での問題意識は共有できており、今後、生産者段階での検討を進めるとともに、課題解決に向けた活動の実践が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	岐阜県園芸特産振興会茶部会、日本茶インストラクター協会等との連携を密にすることにより、茶生産・消費拡大活動の効率性の向上を図っていく。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格向上に向け、緑茶の消費拡大を図る。また、茶園台帳の作成を推進し、遊休茶園の共同管理や作業受委託により、生産量の維持を図る必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 県策定の「岐阜県茶業及びお茶の文化の振興に関する計画」に基づき、茶工場の再編・統合を推進する。

他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	